35013176-01

# TurboPC EX2 Plus について

タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」に読み替えてください。

## 概要

TurboPC EX2 Plusは、パソコン搭載のメモリーを用いて（キャッシュを使って）本製品の読み込み、書き込みを最適化し、高速化するソフトウェアです。また、モードを切り替えることで、書き込むデータの容量を圧縮することもできます。さらに、アドバンスド ライト機能を使って書き込み動作を予測することで、データのコピー時間を短縮することもできます。

## 対応情報

最新の対応情報については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

| | |
|---|---|
| 対応製品 * | TurboPC EX2 Plus 対応の外付けハードディスク<br>Windowsパソコン内蔵のハードディスク |
| 対応OS | Windows 8（64ビット、32ビット）<br>Windows 7（64ビット、32ビット）<br>Windows Vista（64ビット、32ビット）<br>Windows XP（32ビット） |

* 圧縮機能およびアドバンスド ライト機能は、Windowsパソコン内蔵のハードディスクではお使いいただけません。

## TurboPC EX2 Plusをインストールする

お買い求め頂いた製品のマニュアルを参照して、インストールしてください。

**Notes:**

- TurboPC EX2 Plus が有効になると、デバイスマネージャーに登録されるデバイス名に「TurboPC EX」の文字が追加されます（Windows Vista/XPでは、取り外し時に表示されるデバイス名にも「TurboPC EX」の文字が追加されます）。
  例えば、デバイス名が「USB大容量記憶装置」と表示される製品の場合、TurboPC EX2 Plus を有効にすると

「USB大容量記憶装置（TurboPC EX）」と表示が変わります。

- TurboPC EXまたはTurboPC EX2がインストールされたパソコンにTurboPC EX2 Plusをインストールするには、TurboPC EXまたはTurboPC EX2をアンインストールする必要があります。
- 他社製の高速化ソフトウェアがインストールされている場合、TurboPC EX2 Plusをインストールする前に、他社製のソフトウェアをアンインストールしてください。

# 書き込み時の動作（モード）を設定する

データ書き込み時の動作を、以下3つのモードから設定できます。お使いの用途によって、モードを選択してください。

## モードの種類

※データ圧縮されたファイルは、青色で表示されます。

### スピードモード（インストール時の設定）

高速書き込みするモードです。データの転送処理を最適化し、高速にデータ保存・コピー・移動をします。データの圧縮は行われません。

### セーブモード

データの圧縮をするモードです。書き込むデータすべてをWindowsのNTFS圧縮機能で圧縮します。

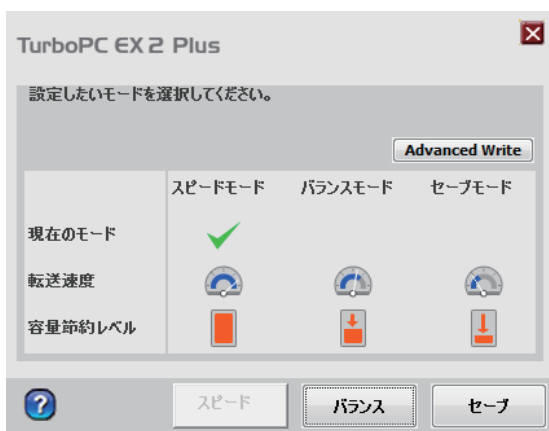
### バランスモード

ファイルによって、高速書き込みとデータ圧縮を自動的に切り替えるモードです。

## 設定方法

モードの設定は、以下の手順で行えます。

**1** [スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[TurboPC EX2]－[TurboPC EX2 モード切替ツール]を選択します。
Windows 8の場合は、スタート画面の[TurboPC EX2 モード切替ツール]をクリックします。

**2** 設定するモードを選択します。
この画面で現在のモードが表示されます。現在のモードをそのまま使用される場合は、画面右上の[×]をクリックしてください。

Note:
画面左下の[?]をクリックすると、各モードの説明が表示されます。

以降は、画面の指示に従って設定してください。

# 書き込み時間を短縮する

## アドバンスド ライト機能

書き込み動作を予測することで、データのコピー時間を短縮する機能です。

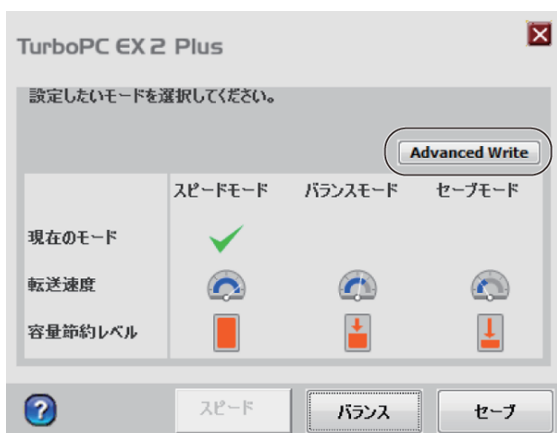
ドラッグや切り取りなどの操作を検知した時点で、外付けドライブへのデータの書き込みを開始します。データ転送の準備をしている間に先行して書き込みを行いますので、コピー所要時間を短縮できます。

Note:
この機能を有効にすると、ドラッグやコピー、切り取りなどの操作を行うだけで、対象データは指定した外付けドライブへ書き込まれます（貼り付け操作をしなくても書き込まれます）。外付けドライブをパソコンから取り外しても、書き込み済みのデータは削除されませんのでご注意ください。

## 設定方法

アドバンスド ライト機能の設定は、以下の手順で行えます。

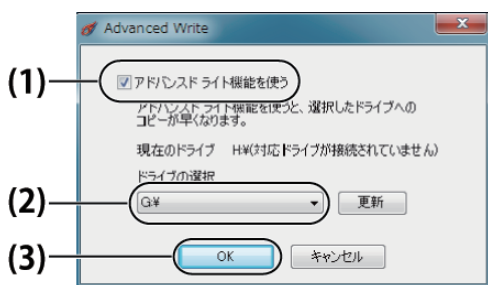
**1** [スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[TurboPC EX2]－[TurboPC EX2 モード切替ツール]を選択します。
Windows 8の場合は、スタート画面の[TurboPC EX2 モード切替ツール]をクリックします。

**2** [Advanced Write]をクリックします。

**3**

(1)　[アドバンスド ライト機能を使う]にチェックマークを入れます。

(2)　「ドライブの選択」で書き込み先のドライブを選択します。

(3)　[OK]をクリックします。

**Note:**
「ドライブの選択」にドライブが表示されない場合は、[更新]をクリックしてください。

以上で設定は完了です。

## TurboPC EX2 Plusを削除する

TurboPC EX2 Plusをパソコンから削除（アンインストール）するときは、以下の手順を行ってください。

※お使いのOSによって、ボタンの名称が異なります。

**1**　[スタート]ー[コントロールパネル]を選択します。
Windows 8の場合は、スタート画面で[デスクトップ]を選択→カーソルを画面の右上端に移動（タブレットでは画面右端を左にスライド）して[設定]を選択→[コントロールパネル]を選択します。

**2**　[プログラムのアンインストール]、[プログラムと機能]、[プログラムの追加と削除]のいずれかをクリックします。

**3** [BUFFALO TurboPC EX Series]を選択し、[アンインストールと変更]、[アンインストール]、[削除]のいずれかをクリックします。

以降は、画面の指示に従って削除してください。

# 困ったときは

## ファイル名が青色で表示される

ファイル名が青色で表示されているファイルは、データ圧縮されたファイルです。圧縮されたことが分かるようにファイル名が青色になります（WindowsのNTFS圧縮機能の仕様です）。

## インストール後にメモリーが不足する

TurboPC EX2 Plus は各デバイスごとにメモリーを数十MB使用します。インストール後にメモリーが不足する場合は、メモリーを増設するか、TurboPC EX2 Plus を有効にしているデバイスの同時接続台数を少なくしてください。

## 設定後に、パソコンが正常に起動しない（パソコンが再起動を繰り返す、青い画面が表示されてパソコンが起動しないなど）

パソコン（OS）のメモリー容量が不足している可能性があります。その場合は、以下の手順でTurboPC EX2 Plus を削除してください。

(1) パソコンの電源をOFFにする。

(2) 当社製のUSBハードディスクをすべて取り外す。

(3) パソコンを起動し、TurboPC EX2 Plus を削除する。

(4) 取り外した当社製のUSBハードディスクを接続する。